

鹿角市地球温暖化対策実行計画改訂案の概要について

1. 2030 年度の二酸化炭素排出量の推計を変更

- ・2030 年度人口推計

(改訂前) 平成 27 年度に策定した人口ビジョン展望シナリオ 27,095 人 ⇒ 22.1 万 t-CO₂

(改訂案) 令和 2 年度に改定した人口ビジョン展望シナリオ 24,997 人 ⇒ 18.8 万 t-CO₂

2. 2030 年度の森林の二酸化炭素吸収量を変更

- ・公開されている直近の森林面積や材積量のデータを基に再計算

(改訂前) 2018 年度の森林材積量及び前年からの増加材積量（森林炭素蓄積量の変化率）並びに人口の変化率等で算定
⇒ 14.8 万 t-CO₂

(改訂案) 2022 年度の森林材積量及び 6 年間の平均増加材積量（森林炭素蓄積量の変化率）等で算定 ⇒ 15.7 万 t-CO₂

3. カーボンニュートラル達成のために必要な二酸化炭素排出量の更新

- ・2030 年度の二酸化炭素排出量及び森林の二酸化炭素吸収量の更新に伴い、カーボンニュートラル達成に必要な二酸化炭素削減量を 7.3 万 t-CO₂ から 3.1 万 t-CO₂ に更新。

【2030 年度二酸化炭素排出量、森林吸収量まとめ】

項目	改訂前	改訂案
CO ₂ 排出量	22.1 万 t-CO ₂	<u>18.8 万 t-CO₂</u>
森林吸収量	14.8 万 t-CO ₂	<u>15.7 万 t-CO₂</u>
カーボンニュートラル達成に必要な CO ₂ 排出量	7.3 万 t-CO ₂	<u>3.1 万 t-CO₂</u>

4. 削減目標の変更

【対策 3】EV の普及状況等を鑑み、EV の販売台数を令和 5 年度の実績から毎年度 10%増加させる目標に変更

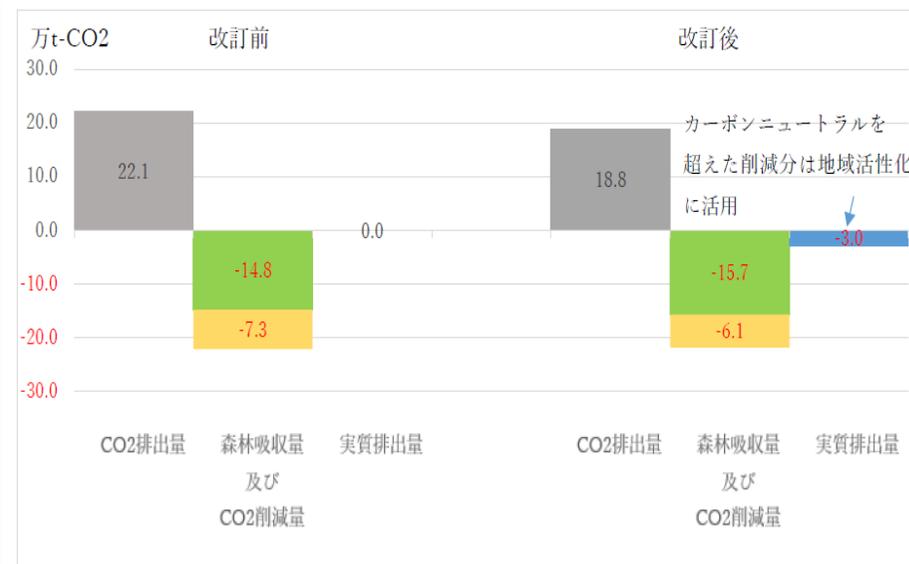
(改訂前) EV への切替 5,000 台 ⇒ 1.19 万 t-CO₂

(改訂案) EV への切替 300 台 ⇒ 0.05 万 t-CO₂

【対策一覧】

項目	改訂前	改訂案
対策1 再エネ電気メニューへの切替	4.62 万 t-CO2	4.62 万 t-CO2
対策2 自家消費型再エネ電源の導入	0.63 万 t-CO2	0.63 万 t-CO2
対策3 EVへの切替	1.19 万 t-CO2	0.05 万 t-CO2
対策4 省エネ設備への更新	0.20 万 t-CO2	0.20 万 t-CO2
対策5 建物の熱対策	0.66 万 t-CO2	0.66 万 t-CO2
対策6 適切な森林管理	吸収量 14.8 万 t-CO2	吸収量 15.7 万 t-CO2
対策7 その他脱炭素行動の促進	数値目標なし	数値目標なし
合計	7.30 万 t-CO2	6.16 万 t-CO2

【目標値変更のイメージ】



※各対策ごとの削減目標は対策3を除いて変更せず、6.16 万 t-CO2 を目標とする。ゼロカーボンを超えて削減できた分については、再エネ電気や森林クレジット等の域外への販売によりグリーン経済の活性化を図る。

5. 再エネ開発の促進区域の設定について

・太陽光発電を対象に、次の条件を満たす市内遊休地を促進区域とすることを追記。市は促進区域に裨益する発電事業を公募する。
(条件)

- ・国や県が定める促進区域に含めない区域ではないこと
- ・鹿角市景観計画の「大湯環状列石重点地域」ではないこと
- ・農地ではないこと
- ・地権者及び近隣住民から太陽光発電事業の実施について理解を得られる土地であること。
- ・将来発電事業が実施されることで野生生物による被害や不法投棄の防止など、地域の安全の向上に資する土地であること
ほか